

諏訪長寿賛助会会報

(公財)長野県長寿社会開発センター

発行日

諏訪支部

平成27年10月15日

諏訪長寿だより

諏訪長寿賛助会

発行者 諏訪長寿賛助会

(諏訪保健福祉事務所福祉課内)

会長 鹿熊 翼

第122号

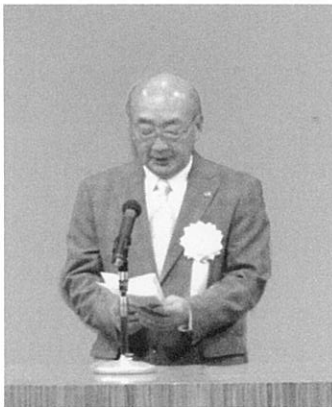
電話(代)0266-53-6000

2015 信州ねんりんピック開催

豊かな長寿の郷をめざして

～すてき田毎に輝くシニア力～

今年で27回目となる信州ねんりんピック文化・芸術交流会が、9月4日・5日・6日の3日間千曲市で開催されました。5日はメイン会場の上山田文化会館で式典・交流イベント・活動見本市などが開催され、総合観光会館では高齢者作品展、戸倉創造館では囲碁・将棋大会も行われました。



式典に先立ち『姨捨物語』が地元の勇壮な冠着太鼓の演奏で始まり、千曲市の紹介が姨捨伝説に沿って行われました。式典では内山二郎長野県長寿社会開発センター理事長が「シニア時代の人々が誰でもその人らしい豊かな生活を送れる長寿社会に繋がるように」と挨拶され引き続き表彰式が行われました。諏訪長寿賛助会からは、各分野で優れた功績を挙げられた下記の皆さんが受賞されました。

賞名	氏名	受賞功績
長野県 長寿社会開発センター表彰 (賛助会員表彰)	石川美江子	三味線・尺八の合奏で社会貢献
	千代 馨脩	頼られるリーダー・賛助会推進
	浜 勝子	手話ダンスを通して社会貢献
賛助会員グループ表彰	みちくさ書道グループ	書を通しての交流や作品展示

表彰をされた3名にお聞きしました。石川さんは「夢にも思わぬ受賞で幸せです。人生二毛作は良い事だと思います」千代さんは「この賞は私一人で戴いた賞だとは思っていません。つどいの会の皆さんが熱心で勉強家なので、みんなの代表として戴いたと思っています」浜さんは「活動して6年ですがとても有り難い受賞です。これを励みに仲間とボランティア活動に力を入れていきたい」と話されました。

式典後『オバステ物語その後』として、一茶ならぬ呆爺茶(ほうじちゃ)さんの愉快的俳句で千曲市の各ボランティア団体の取組の紹介やフラダンス・ロックソーラン・コーラスなどの発表と『人生百歳時代でやりたいこと』で意見交換会もありました。ホールでは、『ヒト・モノ・コト巡り』として活動の展示や販売・演奏など盛りだくさんの活動見本市でした。



(小松久美子・中澤きよ子)

2015 信州ねんりんピック 高齢者作品展

高齢者作品展はメイン会場のすぐ隣の千曲市総合観光会館で開かれました。日本画 43 点・洋画 41 点・彫刻 31 点・手工芸 77 点・書 45 点・写真 33 点の 6 部門 270 点の出展がありました。諏訪地区からは 30 点（諏訪長寿賛助会員 17 点）が出展されました。

諏訪長寿賛助会からは、宮坂栄人さんの写真「楽しいひと刻」大山千恵子さんの日本画「浦島太郎」が長野県老人クラブ連合協会会長賞に輝きました。

宮坂さんの写真は、今年の 6 月岩手県滝沢市の「チャグチャグ馬コ祭り」の時、曲り家にいたおばちゃん達を撮影したもので、宮坂さんは「入賞出来て非常に嬉しく光栄です。生き甲斐として大勢の仲間と毎年出展してきました。写真もデジタルになって難しいものでは無くなってきています。日常の記録も大切ですが、作品として残すことも大切なことだと思います」と話していました。

この他のイベントとして、スポーツ交流大会が 10 月 3 日(土)に長野運動公園総合運動場(長野市)で、スポーツダンス・テニス・ゲートボール・マレットゴルフ他 10 種目が行なわれました。スポーツ交流大会の結果については次号に掲載します。(宮坂 寿久)

高齢者作品展 諏訪長寿賛助会員 入賞作品



宮坂栄人（楽しいひと刻）
写真：県老人クラブ連合会長賞



大山千恵子（浦島太郎：寢覚ノ床）
日本画：県老人クラブ連合会長賞



伊藤高明（救世主）
日本画：奨励賞



小泉昌彦（春の息吹）
写真：奨励賞

第24回 諏訪長寿賛助会活動発表会

11月18日(水)諏訪文化センターにて開催 副会長(活動発表会担当)宮崎福二

諏訪長寿賛助会活動発表会は例年厳寒期に開催していましたが、会員の皆様から暖かい時の開催を希望する声が多く、11月開催と致しました。開催が早くなり、資料作り等大変とは思いますが例年通り各グループのステージ発表・ホワイエ展示発表を行います。今年もシニア大学1年生・2年生にステージ発表・ホワイエ展示発表に御協力していただく事になりました。

本年度はステージ発表14グループ、ホール展示19グループで昨年好評だった止まり木(休憩コーナー)も作りたいと思います。1年間の成果を心おきなく発表出来ます様宜しくお願いします。

今年は新生諏訪長寿賛助会となって10周年となります。記念事業として金子諏訪市長に記念講演をお願い致しました。

◎ 日程 11月17日(火)・・・リハーサル 午後1時～
 〃 11月18日(水)・・・本番当日 午前9時～

◎ 記念講演 午前10時～

講師 金子ゆかり諏訪市長

演題 地方創生時代における諏訪地域発展への期待

一年間の成果を多くの皆様に見て頂きたい、お待ちしております。

活動サポーター研修会に参加して

活動サポーター 佐藤 登

7月27日(月)松本市総合社会福祉センターにて長野県長寿社会開発センターの主催で開催されました。

今回は“人生二毛作社会の実現に向けての意見交換”のタイトルで活動サポーター研修会とタウンミーティングの情報交換会が一緒に開催されました。

諏訪支部からは活動サポーター中山・藤縄・佐藤の3名と支部推進員が参加致しました。

日頃の活動について感謝を込めた内山理事長の挨拶のあと、司会者の挨拶の中で賛助会とは長寿社会開発センターの趣旨(誰でもがその人らしく生き抜く長寿社会の実現)に賛同された方々でセンターのかかげた高齢化社会の実現を支援する組織であるとの挨拶があり、賛助会員の現状は平成15年の7,600人が最高で年々減少して現在は3,485人との報告があり研修会に入りました。

事前に活動サポーターを対象に活動状況等についてのアンケート調査があり、その結果の報告がありました。各支部でも高齢化で退会する会員数より新規会員数の人数が少なくいろいろなPR活動を行っている現状の様でした。

意見交換会では、賛助会員を増やすためには～地区賛助会の魅力とは、魅力づくり～とのテーマでカード方式により行われました。各人が付箋に意見を書き提出し、主だった方々が提出した意見の思いを詳細に説明されました。各支部ともシニア大生へのPR、賛助会の魅力の説明に力を入れている事を感じました。

最後に各地区で開催されましたタウンミーティングの結果報告が3人のシニア活動推進CDより報告があり閉会となりました。

活動サポーターは、長寿社会開発センター理事長より委嘱され、地区賛助会員のサポート等と会員の募集活動が任務です。

親睦交流マレットゴルフ大会開催

諏訪賛助会交流マレットゴルフ大会が、8月31日(月)すわっこランド・マレットゴルフ場で開催されました。ダブル台風17・18号の到来で天候が心配されましたが、当日は曇天ながら実施にこぎつけました。今回は91名(賛助会員58名、シニア大生33名)の参加でした。

8時30分より開会式が行われました。鹿熊翼会長より「みなさんの熱気で雨雲を吹き飛ばしてください」と挨拶があり、続いて前田宇三美マレットゴルフグループ長より「ルールとマナーの説明・安全面での注意事項」がありました。参加者はラジオ体操の後それぞれのスタートホールに足早に散っていき、開始の笛が高らかに鳴り、競技がスタートしました。スティックの快音と歓声がゴルフ場いっばいに響いていました。

「シニア大の学生さんが多数参加してくれてありがたい。次につながる大きな前進だと思う。『グループ間交流・シニア大生と賛助会員の交流・健康づくり』がこの大会の三つの目的です」と前田グループ長は語っていました。「マレットゴルフは個々が自分の力量に応じて参加できる。費用が安い。健康に役立つ。カーンという音がたまらない。シニアにとって良いスポーツです」と参加者の一人、近藤一美さんは話していました。

終了後スコアの確認をし、カード集計を済ませ成績発表と表彰式が行われました。入賞者は次の方々です。



順位	男性の部	女性の部
優勝	百瀬 文明	岩崎 美代子
準優勝	伊藤 璋明	宮沢 和美
3位	藤森 種夫	小平 とき子

(三ッ橋紀代子)

つどいの会に「麒麟・シルバー『力』」助成金贈呈される

賛助会グループつどいの会(グループ長千代馨脩)が申請していました事業が採択され、「麒麟・シルバー『力』」応援事業助成金の贈呈式が5月19日(火)諏訪地域交流センター「こころのひろば」で行われました。

麒麟福祉財団事業部長鎌田氏が東京から、長野支社営業部長泉水氏が長野市より臨席され、千代グループ長に目録が贈呈されました。千代グループ長より「つどいの会の活動への自信が持てました。今後とも社会貢献をしていく決意です」と謝辞が述べられました。頂いた助成金の用途について、尾崎副グループ長より「雨合羽、ユニホーム、用具費、事務費として使わせていただきます」との説明がありました。式後開かれた情報交換会では会員から今後の活動への決意がのべられ、合羽とユニホームの配布が行われました(つどいの会広報より)



地道な活動が評価されました助成金贈呈おめでとうございます。(三ッ橋紀代子)

グループ紹介

◎ミュージックフォックス◎

今回は私自身が一会員でありますミュージックフォックス（御子柴晴子代表）の紹介と最近の活動状況をお知らせします。

結成は平成14年、当時の老人大学、今のシニア大学の諏訪学部22期生を中心に結成され、以後卒業生・在校生の仲間が集まって出来た合唱団です。メンバーは、現在女性37名・男性7名で、練習は月2回～3回、諏訪市文化センター・諏訪市総合福祉センター（いきいき元気館）・諏訪市湖柳公会堂等の会場でやっています。



普段の活動は、恒例の諏訪長寿賛助会の活動発表会出演、ボランティア活動としては介護施設や日赤のロビーコンサートなどしています。

指揮者は、当初はシニア大学24期生の鬼束寛夫先生より指導を受けていましたが、現在は宮下荘治郎先生より指導を受けています。先生は他にもいくつもの合唱団の指導をされていて大変お忙しい中、熱心かつユーモアのある指導をして頂いています。それに練習曲



全て、懐かしの童謡・唱歌・歌謡曲など、先生自身の編曲で易しくて美しいハーモニーの曲に仕上げ頂き楽しく歌っています。次に合唱団の名前の由来ですが、フォックス=Focssは合成語です。Fは富士見町・Oは岡谷市・Cは茅野市・Sは諏訪市・次のSは下諏訪町、つまり諏訪地域全体を表しているというわけです。

さて、今年も毎年訪問している介護施設への慰問に行ってきました。去る8月28日（金）に諏訪市の老人保健施設「掬水」、また9月25日（金）に岡谷市の特別養護老人ホーム「さわらび」でそれぞれ、ロビーコンサートを行ってきました。曲目は同じで、Iステージには『唱歌による四季の風景』と題して、どこかで春が・若葉・夏は来ぬ・海・野菊・旅愁・たき火・スキーの8曲、次に会場の皆さんと一緒に全員で、信濃の国・青い山脈を思いっきり歌いました。そして、IIステージ目は『吉田正名曲選』と題して、寒い朝・いつでも夢を・勇気あるもの、それに加えて覚えてたの新沼謙治の、ふるさとは今もかわらず、を歌いました。全体を通して、会場の皆さんには懐かしい歌に、手拍子をしたり一緒に口ずさんだりして楽しんで頂きました。特に「さわらび」では感激のあまり終始涙を拭いながら聞いて下さる方がいて、こちらも感激してしまい歌う声にもつい力が入ってしまいました。会場の皆さんとの一体感が生まれたことに感謝し、達成感をかみしめながら施設を後にしました。



私達合唱団は、只今団員を募集しています。歌のお好きな方一緒に歌いませんか。特に男性の入団をお待ちしています。

（林 毅）

お知らせ 今後の諏訪賛助会全体行事

○第24回 活動発表会

日 時 11月18日(水) 午前9時から
場 所 諏訪市文化センター
グループ発表 作品展示とステージ発表
記念講演 講師 金子ゆかり諏訪市長
演題 地方創生時代における諏訪地域発展への期待

○親睦交流 ボウリング大会

日 時 12月3日(木)
場 所 スポーツ岡谷 (イルフプラザアミューズメント2階)
集合・午前9時 / スタート・10時
2ゲーム・ヨーロッパ方式・ハンデ戦
参加費 1,000円(ゲーム代他) 貸靴代300円は自己負担
申込方法 参加希望の賛助会員はグループ長がまとめて鈴木事務局長へ
(FAX 58-3116) 申し込む
シニア大生は平井社会活動推進委員へ申し込む
申込締切 11月10日(火) (最終締切り 11月20日)
★大会終了後「湖苑」にて食事会を行います。
申込み時に ①靴の有無②食事会参加の有無を明記

問合せ先 諏訪長寿賛助会 事務局長 鈴木 健夫
ボウリング愛好会 峰村 道臣

編集後記

異常気象の夏も終わり一気に秋となりました。やっと体を動かせるシーズンです。スポーツや趣味を楽しみましょう。

今年は諏訪長寿賛助会活動発表会を11月18日に開催します。準備が大変と思いますが、日頃の活動を出し切り、成功しますよう、ご協力をお願いします。

ここに諏訪長寿だより122号をお届けします。ねんりんピックでの当会員の皆様の活躍も載っています。今回、諏訪長寿だよりの編集委員に新たに、中澤きよ子さん・小松久美子さんが協力して頂けることになりました。大変な仕事ですが頑張りますとの事、フレッシュな感性で新たな紙面が生まれる事を期待いたします。

(濱 基裕)